

## 愛媛・香川の引継ぎ

原水爆禁止国民平和進行四国コースの愛媛・香川県境での引継ぎ式が行われました。愛媛からの行進を拍手で迎え引継ぎは、今井愛媛県実行委員長がまず県を代表してあいさつ。今井氏は、いままで行ったことのない島での平和行進で、署名をした人が被爆者2世だったと今年の行進の一こまを紹介し挨拶としました。続いて岩部香川県実行委員長は、香川県でも愛媛県にならういがんばるとしたうえで、明日は観音寺市長が初めてあいさつすると報告。そして山内金久通し行進者が挨拶。山内氏は愛媛県へのお礼と香川県での四国最後の行進をたのしみたいと述べました。そして最後に「今日は沖縄県議選投票日」と沖縄を返せと、青い空をトランペットで吹奏。一同がこの演奏に合わせて歌いあげました。

最後に合同の写真をとり。香川県はJR観音寺まで行進しました。引継ぎ式の前に香川県では署名行動を行い15筆ゲット！



## 佐伯観音寺市長はじめて挨拶、山下三豊市長草の根を評価

いつもは最後になる観音寺、今年は最初の訪問自治体になりました。その関係で、ご縁がなかった観音寺市長が初めて挨拶。佐伯明浩市長は世界が仲良くやる必要があるが今ギザ市内でも悲しい出来事が起きているとして、世界の安心と安全を取り戻すためにも、草の根が大切と強調。皆さんの体調を気遣い挨拶とした。

山下昭史三豊市長は、今世界は核戦争の危険もある大変な状況にあるとして、核兵器禁止条約等で安心と安全を草の根で訴える皆さんに敬意を表するとし、自治体としての立場で平和を訴えて行くと決意し、最後に参加者の体調を気遣い挨拶とした。また丸戸研二議長は、被曝79年の中で粘り強く運動を続ける皆さんのたたかいに敬意を表するとし暑い中、気を付けて歩くように労って挨拶とした。また山内金久通し行進者は、香川入りで40都府県になり、全国通し行進6ルートになると紹介。得意のトランペットで「青い空」を吹き、みんなで合唱。

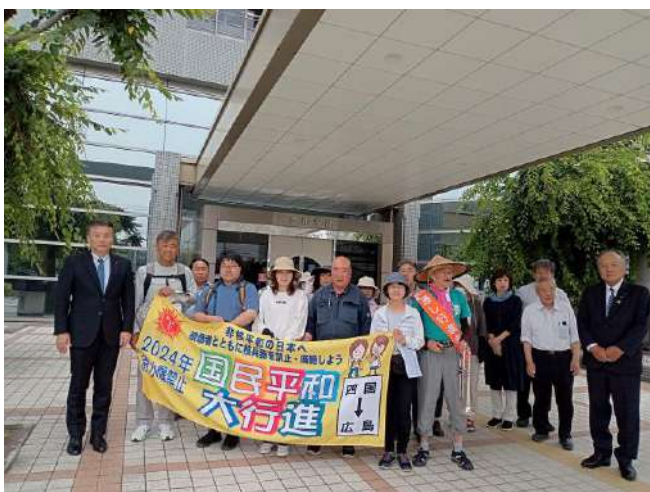
善通寺診療所の終結集会では、新婦人の方の「饅頭」(とっさかまんじゅう)のさしいれをほおぼりながら、山内さんおトランペットで会を閉めました。



左：観音寺市役所で佐伯明浩市長と  
平和行進で～すと一歩

左下：三豊市役所で山下市長と丸戸  
議長

下：善通寺診療所の皆さんと終結集  
会、内田市議も駆けつけました



核兵器全面禁止条約への調印・批准を

# 香川県原水協ニュース

# NO

# 250

2024年 6月 19日(水)

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

## 西讃 2市2町を訪問し熱い激励を受ける！！

朝8時30分善通寺市役所で出発式を行い、内田善通寺市議が昨日は雨の心配もなく行進ができた事を報告し、今日は多度津でスイカとジュースが待っているのを楽しんで行進を依頼と場を和ませました。その後善通寺市長の代読を課長が読み上げ、被曝 79 年になり風化もある中世界はウクライナギザと悪化しているがその中での平和行進で平和を守るためにそれぞれの立場で共に頑張ろうと挨拶。

また多度津では岡部登副町長が挨拶、まず参加の皆様へ労と献身に敬意を表し、後世に被爆の実相を伝えるために、又世界の不安定の中の平和への努力に対してこれからもご活躍を期待すると挨拶。

丸亀市での昼の出発集会は桑野新婦人丸亀代表の司会で開会。松永恭二市長は世界の恒久平和は丸亀の願いとし 79 年を迎えるが、ロシアやイスラエルと痛ましい現実があると指摘。それだけに平和の願いを世界に伝えることがいよいよ大切になっているとして、行進参加者の健康を気遣い挨拶。又横川副議長は核をなくし平和を求める活動に敬意を表すと述べ、自分の若いころ沖縄で5日間で130km を歩いた経験を話し、一人でも多くの人に思いを伝えてほしいと訴え。教育長は子どもたちの胸を痛める事態が世界で起きているが、様々な角度から子供たちの学びを重視した活動を訴えました。最後に近石美智子丸亀原水協代表が核禁条約の禁止事項を紹介し、今その調印国は 93 か国批准国は 70.か国となっているが、いま国家の安全より人類の安全が優先すること、そしてそのためにも核禁条約に参加する日本政府を作る世論と運動を呼びかけました。

宇多津町では、高瀬副町長が、行進の皆様へ頭が下がると敬意を表し、世界はこの運動に逆行する事態が続いているが、世界平和の近道は皆様の行動にあると喝破、徳島までの行進気を付けてと気遣い挨拶とした。本日の成果:署名は6筆 内4筆は肩書署名 ペナントは自治体8本



善通寺市役所の出発式



多度津町で岡部副町長と



丸亀市役所で市長らと



宇多津町で高瀬副町長らと

### 横断幕は西讃から東讃へ

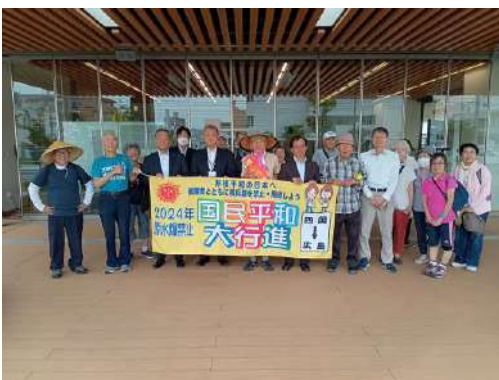
横断幕は西讃から東讃に、最後の坂出市を出発、JR鴨川駅周辺で3班に分かれ署名をとりました。坂出市の出発式では浦田副市長が、ロシアの行為は許されない、紛争を軍事で解決しようという解決策では真の解決にならないと力説。坂出市は昭和 53 年以来非核都市宣言をうたっている。平行進が成功裏に終わることを祈念し挨拶。また東原議長は議会としてロシアへの抗議を採択したと報告し、核のない平和な世界を作る運動に敬意を表すると同時に元気よく行進する上で、体に留意するよう労い挨拶とした。

山内通し行進者は、香川に入りこれまでの合計40都道府県になるとこれまでの通し行進を振り返った後核をなくす声を響かせ、日本政府を核禁条約に参加させ日本の役割を果たそうと呼びかけ、最後に「青い空」を演奏した。

JR鬼無駅での出発式では、岩部乃之原水協筆頭代表が 5 日目となり、県都に入ったが、この後30日徳島で四国の終結集会となると報告。その中で工夫して署名を取っているがこの行進中に1万筆をめざして頑張ろうと挨拶した。山内氏も挨拶の上「青い空」を演奏。

今日の終結集会の県庁では、岩部さんの司会で檉県議が挨拶。檉県議は、今日のTVで、被爆者が 1964 年アメリカでオッペンハイマー氏に会った時、オッペンハイマー氏は涙を流して謝ったと報道していた。核なくせ、核禁条約に署名せよの声をさらに大きくし核大国の核準備を止めさせ廃絶の流れを作る上で今年の世界大会の成功を願って挨拶とした。

池田豊人知事のメッセージを公報広聴課の塩田課長が代読。2024 年原水爆禁止国民平和行進ご苦労様と労をねぎらい。そして恒久平和は人類共通の願いであり、皆さんの非核平和の運動に期待してその輪が広がることを願っているとメッセージ。



坂出市の皆さんと



弦打小学生が行進に参加



県庁広聴課長と終結集会

## 二十四の瞳の島は雨の中の行進でした。

今日は好天のままで済むのかと思いきや、歩き始めて30分で突然降り出しました。それもいきなりの大粒がどさっと。そんななかでも行進はいつもより早いペースで進みます。

出発式で鍋谷小豆島町議が、大江正彦町長のメッセージを代読。大江氏は行進参加者に敬意を表したあと、恒久平和はみんなの願いであり、小豆島では、坪井栄氏の平和を愛する心が次の世代にも引き継がれるように願っていると述べ挨拶とした。また福本土庄町議は終結集会で岡野能之町長の挨拶を代読。岡野氏は1958年に始まった平和行進がこうして続いていることが核廃絶と平和にとって大きく貢献していると敬意。しかしもう一方ロシアのウクライナ侵略が多くの子供たちの含め多くの死傷者を出し、人類の生存に深刻な不安と脅威となっている。土庄町は昭和59年に非核都市宣言を決議し皆さんと同様に自治体として核兵器の廃絶を訴えています。今後ますますの皆さんのご発展の皆様のご健勝を願って挨拶とした。高松市内からの参加者は生健会の2人と小池有康医療生協専務は、待合場所違いで後から追いつきました。今日の署名は小豆島分 55筆が後から届きます。原爆パネルも1セット即購入。



左：池田港での出発集会で

下：土庄港での終結集会



小豆島町にある九条の看板前で



### 市民の暖かさ支えられ行進進む！！

今日は塩江町からハーモニーまでのコースを歩きました。香川町では通りすがりの人から手振りやご苦労様の声がかかります。自動車からも手振りの反応。仏生山町では通りがかりの店前で待っていた40代の方が、ご苦労様と声がかかりました。

塩江町での出発式では、田中和夫さんが代表挨拶しました。原内支所長はロシアのウクライナ侵略を批判し最近では北朝鮮との関係もあり、紛争の拡大という状況がある。その中で平和行進は意義深いと挨拶。中村香南支所長は早朝からの行進に敬意を表したあと、恒久平和は人類共通の願いとして、皆さんの行進が意義深いと評価。ますますのご健勝と行進中のご自愛を気遣い挨拶とした。

香川町では、堀上淳司センター長が広島・長崎79年になるが、世界はウクライナやイスラエルの戦争と言える問題があるが、ロシア等核は使わないというのが信じられないというのが偽らない気持ちである。平和行進は1958年以来の行動として6月30日まで続くと聞いているが体に気を付けてほしいと気遣い挨拶とした。山内金久通し行進者は全国の通し行進者3人の中で四国コースを担当したと紹介。被爆者の願い核廃絶にも関わらず核使用の脅威があると指摘し、とりわけ核禁条約に入らない日本政府を変えることが肝要と強調。トランペットで「青い空」を演奏しみんなで歌った。太田上町での署名12筆。



塩江町で原内支所長と



中村香南支所長と



香川支所で堀上支所長と



ハーモニーでの終結集会

## 初めて尽くしの直島町訪問！！

直島町訪問の初めての一つ目は、参加者民医労の青年部の一人だけというのは、私の経験ではなかったことです。したがって横断幕を二人で持てばあとはいいことになります。しかしそれでも道すがら、向こうから挨拶してくれる女性や交番のお巡りさんが手を振って応援。これが二つ目の初めて。そして三つめは、直島町でも田中正平副町長が対応。田中正平副町長は、応接室に全員を招き入れ、紹介した山内氏の言葉に熱心に耳を傾けます。そして町舎内では、土師器や須恵器・石の矢じりなど縄文時代の遺物が展示されていました。また直島町に伝わる女文楽の頭や鳳凰紋の着物なども展示されており、これら一つ一つを熱心に説明もしてくれました。人数は少ない訪問となりましたが内容は充実した訪問となりました。来年はもっと参加者を増やしましょう。



応接室での恒例の写真

## 青い空をみんなで覚えよう！ 終結集会で大合唱

曇り空から時折雨がポつりと降り始める中での出発集会となりました。公森明子さんが今日は雨の中の行進になるが元気に頑張っていこうと挨拶。県原水協から、特に交通事故に気を付ける事と今日は若い人が多いため「青い空」を覚えようと提起。山内氏は今年の通し行進者 3 人のうちの一人と自己紹介し、今年で 6 回目になるが、これまで40都道府県を踏破と語り、トランペットで「青い空」を練習してからのスタートとなりました。

2 回の休憩でコムコム会館に到着。福永事業部長が「暗い時代」の中、平和の心を呼ぶ行進は大切な事と挨拶。みんなで「青い空」をフルコーラスで大合唱しました。もう一つ今日の宿題となったあと125筆の署名活動は、みんなで今週中に家族友人知人をお願いしようと呼びかけ。中には「任せといて」と元氣な対応もありました。これからの若い人達に語り継ぐ歌を教えるのも、継承かな。



コンビニでの休憩時に撮影



**楽しく歩き、たのしく歌う！これがあたらしい平和行進！**

朝高松市役所の出発前には、少し雨模様であったのが、昼終わるころには全くその気配なしと、天気を拾ったそんな一日でした。同時に平和行進も手を振り声を出し行進をアピールします。そして終われば署名と歌と充実した一日でした。これが新しい平和行進かもという形が見えました。

高松市役所の主催者挨拶で檉昭二平和委員会筆頭代表理事は、12000 発の原爆に内、2100 発が臨戦態勢ですぐ撃てる危険な実態を報告し、これに対峙する大きな平和行進を繰り広げようと挨拶。宮脇人権男女共同参画推進課長は、67回目の行進を悲惨な戦争と原爆被害をなくしていくために行っている皆さんに敬意を表すると述べた後、高松市も平和都市宣言をし自治体としての立場で貢献している。皆さんの所期の目的が達成するよう期待し挨拶とした。昼の出発地点では上野牟礼支所長が、急なお願いにも関わらず、日頃の平和活動に対し敬意を表し今世界では市民の犠牲が後を絶たないがこれは憂慮することと喝破。これを打破する運動をますます期待すると挨拶。

本日の署名活動は、朝パワーシティマルナカ周辺の住宅を訪問。留守が大いなか 8 筆、昼はJR志度駅周辺で署名活動で 20 筆と合計 28 筆の成果でした。特に平和クリニックは 10 人の参加があり、大きく貢献してくれました。署名活動後山内金久氏の挨拶とトランペットで「青い空」を 3 番までのフルコーラスで合唱しました。署名数もあと 87 筆で 10000 筆に到達する勘定になります。



高松市役所前での週発集会で宮脇課長・青木平和記念館長と



上野牟礼支所長と



J R 志度駅前での終結集会

## 最後の自治体土曜日にも関わらず、市長ら三役が迎えてくれました！

今日の出発地はJR丹生駅東かがわ市のJR最初の駅です。東本政行東かがわ市原水協代表がいよいよ後2日、通し行進者から行進は「楽しいんだ」を感じたと感想を述べ、市役所では市長らがまわっていると挨拶。山内氏は全国通し行進も6回目となるが、出身の青森でも同級生が行進してくれたこともあったと経験を披露し挨拶。「青い空」をフルコーラスで練習。

東かがわ市では、主催者として北原協同病院院長が挨拶。まず市長らの出迎えに感謝し、来年で被爆80年だが、残念ながら原爆は無くならないどころかロシアの核脅威等ますます核に依存する体制にある。こんな時代に平和の行進は世界的にも稀な事という話を聞いた。市民と自治体が協力しての平和行進が特に大切と指摘し挨拶とした。植村一郎市長は参加者の労をねぎらった後、争いが絶えないのは辛いことと指摘し平和を目指した運動が特に大切とし原水協活動に敬意を表したいと挨拶。渡辺議長はロシアやイスラエル問題が何故起こるのか、政治の後ろに核があるためと喝破、オープンハイマーの映画で最後に飛行機が飛ぶシーンが真っ赤に変わるが印象深く見たと挨拶。松浦教育長は平和行進にはいつも気づきを与えてくれるとし、平和には忍耐と努力が必要と中村哲さんの言葉を引き、平和運動が大切と挨拶。山内金久さんは世界の思いと市民の願いが一体となって今年の世界大会は核廃絶に向けての大きな起点にしたいと挨拶。みんなで「青い空」を合唱。終結集会后署名活動を行い、周辺の住宅訪問を行い15筆とカンパ2000円ゲット。これで後8筆で達成となりました。



上：JR丹生駅での出発集会



上右：東かがわ市三役と終結集会



左：JR引田駅での終結集会

## 徳島・香川県境で四国の終結集会 青い空をみんなで楽しく！

朝9時にJR引田駅に集合し、まず残された署名数を今日で決着を付けようと3組に分かれて行動。結果は37筆とカンパ2000円、岩部乃之さんは昨日同様またカンパをもらいました。こうして達成。出発集会は岩部乃之筆頭代表は今日が最終日、横断幕はこの後岡山にわたり広島へ運ばれるが最後の日頑張っていこうと挨拶。山内さんも横断幕をみんなの力で支えてきたが、つないでいきたい。最後まで沿道の人とドライバーへ手を振っていこうと挨拶。

四国の終結集会では、徳島の猪本百合子担当常任が、雨の心配があったが香川のパワーが勝ったと健闘を称えた後、引き続き徳島での四国大会の成功と山内さんの57日間のご苦勞を労い挨拶とした。香川では原田真吾平和病院院長がこの2週間組織として歩いた青年部が青いTシャツを着て行進また今九条の碑を建てるプロジェクト運動も行っているが、アフガンの中村哲さんも言った平和運動も忍耐と努力が大切と述べ挨拶とした。そのあと福井利夫香川県原水協事務局長がこの2週間の目標が2つあったとして楽しく元気に行進することの結果昨年110%を超える参加となったこと、そしてもう一つ署名を1万筆越えることも今日で達成したと報告。久保武士東かがわ職員労組書記長は2022年ロシアのウクライナまた今年イスラエルの Gaza と不安定と核の脅しもあり又日本政府も戦争する国作りを強めているが、もっと冷静になり人類と核は共存できないから、核廃絶のために核禁条約の調印・批准をと呼びかけ。

山内金久通し行進者は、徳島スタートの57日間みんなの励ましに支えられがって行進することができた。どこでも市長町長そして村長さんら自治体の方々の出迎え・歓迎とペナントやカンパまで頂いたと感謝を述べ、一方日本政府の態度を厳しく批判しこの政府が変わることを想像してみれば、世界は大きく平和に舵を切ることができるかと力をこめ、世界大会で会いましょうと挨拶しみんなで「青い空」をフルコーラスで歌い終結集会を終えました。



四国コースの終結集会で徳島の仲間と